

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則及び麻薬及び向精神薬取締法施行細則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成20年7月4日

香川県知事 真 鍋 武 紀

香川県規則第48号

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則及び麻薬及び向精神薬取締法施行細則の一部を改正する規則

(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則の一部改正)

第1条 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則(昭和63年香川県規則第36号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前												
<p>(費用の徴収等)</p> <p>第11条 知事は、法第31条の規定に基づき、法第29条第1項及び第29条の2第1項の規定により入院させた精神障害者(以下「措置入院者等」という。)又は措置入院者等と生計を同じくする扶養義務者(以下これらの者を「支払義務者」という。)から入院に要する費用として別表に定める額(以下「費用徴収額」という。)を徴収する。ただし、支払義務者が生活保護法(昭和25年法律第144号)の規定による被保護者又は中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律(平成6年法律第30号)の規定による支援給付を受けている者である場合は、徴収しない。</p> <p>2・3 略</p>	<p>(費用の徴収等)</p> <p>第11条 知事は、法第31条の規定に基づき、法第29条第1項及び第29条の2第1項の規定により入院させた精神障害者(以下「措置入院者等」という。)又は措置入院者等と生計を同じくする扶養義務者(以下これらの者を「支払義務者」という。)から入院に要する費用として別表に定める額(以下「費用徴収額」という。)を徴収する。ただし、支払義務者が生活保護法(昭和25年法律第144号)の規定による被保護者である場合は、徴収しない。</p> <p>2・3 略</p>												
<p>別表(第11条関係)</p> <table border="1" data-bbox="168 954 1048 1225"> <thead> <tr> <th>支払義務者の所得税額の合算額</th> <th>費用徴収額(月額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>147万円以下の金額</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td>147万円を超える金額</td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table>	支払義務者の所得税額の合算額	費用徴収額(月額)	147万円以下の金額	略	147万円を超える金額	略	<p>別表(第11条関係)</p> <table border="1" data-bbox="1160 954 2040 1225"> <thead> <tr> <th>支払義務者の所得税額の合算額</th> <th>費用徴収額(月額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150万円以下の金額</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>150万円を超える金額</td> <td>2万円。ただし、入院に要した費用の額から法第30条の2に規定する他の法律による医療に関する給付の額を控除して得た額が2万円に満たない場合は、その額</td> </tr> </tbody> </table>	支払義務者の所得税額の合算額	費用徴収額(月額)	150万円以下の金額	0円	150万円を超える金額	2万円。ただし、入院に要した費用の額から法第30条の2に規定する他の法律による医療に関する給付の額を控除して得た額が2万円に満たない場合は、その額
支払義務者の所得税額の合算額	費用徴収額(月額)												
147万円以下の金額	略												
147万円を超える金額	略												
支払義務者の所得税額の合算額	費用徴収額(月額)												
150万円以下の金額	0円												
150万円を超える金額	2万円。ただし、入院に要した費用の額から法第30条の2に規定する他の法律による医療に関する給付の額を控除して得た額が2万円に満たない場合は、その額												
<p>注 略</p>	<p>注 略</p>												

第5号様式 (第6条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

診 断 書 (入院措置用)

申請等の形式	I 親族又は一般人申請 (第23条) II 警察官通報 (第24条) III 検察官通報 (第25条) IV 保護観察所の長通報 (第25条の2) V 矯正施設の長通報 (第26条) VI 精神科病院の管理者届出 (第26条の2) VII 指定通院医療機関の管理者又は保護観察所の長通報 (第26条の3) VIII 保健所長職務診察 (第27条第2項)		
申請等の添付資料	I あり II なし		
被 診 察 者	フリガナ		生年月日
	氏 名	(男・女)	年 月 日 (満 歳)
	住 所		
	職 業		
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症
生活歴及び現病歴 (推定発病年月、精神科 受診歴等を記載すること。)	(陳述者氏名 続柄)		
初 回 入 院 期 間 前 回 入 院 期 間 初回から前回までの入院 回 数	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)	計 回
重大な問題行動 (Aはこれまでの、B は今後おそれのある問題 行動)	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像		
1 殺人	A B	<現在の精神症状>	
2 放火	A B	I 意識	
3 強盗	A B	1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ()	
4 強姦	A B	II 知能	
5 強制わいせつ	A B	1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害	
6 傷害	A B	III 記憶	
7 暴行	A B	1 記憶障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ()	
8 恐喝	A B	IV 知覚	
9 脅迫	A B	1 幻聴 2 幻視 3 その他 ()	
10 窃盗	A B	V 思考	
11 器物損壊	A B	1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸	
12 弄火又は失火	A B	6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ()	
13 家宅侵入	A B	VI 感情・情動	
14 詐欺等の経済 的な問題行動	A B	1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁	
		5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進	
		7 その他 ()	

第5号様式 (第6条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

診 断 書 (入院措置用)

申請等の形式	I 親族又は一般人申請 (第23条) II 警察官通報 (第24条) III 検察官通報 (第25条) IV 保護観察所の長通報 (第25条の2) V 矯正施設の長通報 (第26条) VI 精神科病院の管理者届出 (第26条の2) VII 指定通院医療機関の管理者又は保護観察所の長通報 (第26条の3) VIII 保健所長職務診察 (第27条第2項)		
申請等の添付資料	I あり II なし		
被 診 察 者	フリガナ		生年月日
	氏 名	(男・女)	年 月 日 (満 歳)
	住 所		
	職 業		
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症
生活歴及び現病歴 (推定発病年月、精神科 又は神経科受診歴等を 記載すること。)	(陳述者氏名 続柄)		
初 回 入 院 期 間 前 回 入 院 期 間 初回から前回までの入院 回 数	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)	計 回
重大な問題行動 (Aはこれまでの、B は今後おそれのある問題 行動)	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像		
1 殺人	A B	<現在の精神症状>	
2 放火	A B	I 意識	
3 強盗	A B	1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ()	
4 強姦	A B	II 知能	
5 強制わいせつ	A B	1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害	
6 傷害	A B	III 記憶	
7 暴行	A B	1 記憶障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ()	
8 恐喝	A B	IV 知覚	
9 脅迫	A B	1 幻聴 2 幻視 3 その他 ()	
10 窃盗	A B	V 思考	
11 器物損壊	A B	1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸	
12 弄火又は失火	A B	6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ()	
13 家宅侵入	A B	VI 感情・情動	
14 詐欺等の経済 的な問題行動	A B	1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁	
		5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進	
		7 その他 ()	

15 自殺企図	A B	Ⅶ 意欲
16 自傷	A B	1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止
17 その他 ()	A B	6 無為・無関心 7 その他 ()
		Ⅷ 自我意識
		1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()
		Ⅸ 食行動
		1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ()
		<その他の重要な症状>
		1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 ()
		4 その他 ()
		<問題行動等>
		1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 ()
		<現在の状態像>
		1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態
		4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態
		7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態
		10 その他 ()
診察時の特記事項		
医学的総合判断		
I 要措置		
II 措置不用 (1 要入院医療 2 要入院外医療 3 医療不要)		
以上のとおり診断する。		
精神保健指定医氏名 (署名) 年 月 日		

(香川県における記載欄)				
診察に立ち会った者	氏名	(男・女)	続柄及び職業	年齢 歳
(親権者、配偶者等)				
診察場所				
診察日時	年 月 日	時 分	～	時 分
職員職氏名				
香川県の措置				

(注)

- 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を含むこととする。
- 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 「診察時の特記事項」の欄は、被診察者の受診態度、表情、言語的及び非言語的なコミュニケーションの様子、診察者が受ける印象等について記載すること。
- 選択肢の欄は、それぞれ該当するローマ数字、算用数字等を○で囲むこと。

15 自殺企図	A B	Ⅶ 意欲
16 自傷	A B	1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止
17 その他 ()	A B	6 無為・無関心 7 その他 ()
		Ⅷ 自我意識
		1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()
		Ⅸ 食行動
		1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 ()
		<その他の重要な症状>
		1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 ()
		4 その他 ()
		<問題行動等>
		1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 ()
		<現在の状態像>
		1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態
		4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態
		7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態
		10 その他 ()
診察時の特記事項		
医学的総合判断		
I 要措置		
II 措置不用 (1 要入院医療 2 要入院外医療 3 医療不要)		
以上のとおり診断する。		
精神保健指定医氏名 (署名) 年 月 日		

(香川県における記載欄)				
診察に立ち会った者	氏名	(男・女)	続柄及び職業	年齢 歳
(親権者、配偶者等)				
診察場所				
診察日時	年 月 日	時 分	～	時 分
職員職氏名				
香川県の措置				

(注)

- 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 「診察時の特記事項」の欄は、被診察者の受診態度、表情、言語的及び非言語的なコミュニケーションの様子、診察者が受ける印象等について記載すること。
- 選択肢の欄は、それぞれ該当するローマ数字、算用数字等を○で囲むこと。

第5号様式の2 (第6条関係)

診断書 (医療保護入院又は応急入院のための移送用)

移送の対象者	氏名	(男・女)	生年月日	年 月 日 (満 生 歳)
	住所			
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 [推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。]	(陳述者氏名 続柄)			
初回入院期間 前入院期間 初回から前回までの 入院回数	年 月 日～	年 月 日 (入院形態)		
	年 月 日～	年 月 日 (入院形態)		
	計 回			
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記憶障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 () VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 () IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 () その他の重要な症状 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 () 問題行動等 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 () 現在の状態像 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()			

第5号様式の2 (第6条関係)

診断書 (医療保護入院又は応急入院のための移送用)

移送の対象者	氏名	(男・女)	生年月日	年 月 日 (満 生 歳)
	住所			
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 [推定発病年月、精神科又は神経科受診歴等を記載すること。]	(陳述者氏名 続柄)			
初回入院期間 前入院期間 初回から前回までの 入院回数	年 月 日～	年 月 日 (入院形態)		
	年 月 日～	年 月 日 (入院形態)		
	計 回			
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記憶障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 () VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 () IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 () その他の重要な症状 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 () 問題行動等 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 () 現在の状態像 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()			

略

(注)

1 略

2 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科
における受診歴を含むこととする。

3～5 略

略

(注)

1 略

2～4 略

第15号様式 (第16条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者 (第33条第1項) の入院届

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名

次の者が医療保護入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第7項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ 氏名 (男・女)	生年月日	年 月 日 (満 歳)
	住所		
保護者の同意により入院した年月日	年月日	今回の入院年月日	年月日
		入院形態	
第34条による移送の有無	有・無		
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症
生活歴及び現病歴 (推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。 (特定医師の診察により入院した場合には特定医師の採った措置の妥当性について記載すること。)	(陳述者氏名 続柄)		
初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数	年月日～年月日 (入院形態) 年月日～年月日 (入院形態) 計 回		
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記憶障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ()		

第15号様式 (第16条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者 (法第33条第1項) の入院届

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名

次の者が医療保護入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第7項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ 氏名 (男・女)	生年月日	年 月 日 (満 歳)
	住所		
保護者の同意により入院した年月日	年月日	今回の入院年月日	年月日
		入院形態	
第34条による移送の有無	有・無		
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症
生活歴及び現病歴 (推定発病年月、精神科又は神経科受診歴等を記載すること。 (特定医師の診察により入院した場合には特定医師の採った措置の妥当性について記載すること。)	(陳述者氏名 続柄)		
初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数	年月日～年月日 (入院形態) 年月日～年月日 (入院形態) 計 回		
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記憶障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ()		

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	Ⅷ 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()	
	Ⅸ 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 () 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 () 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 () 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()	
医療保護入院の 必要性 (患者自身の病気に 対する理解の程度を 含め、任意入院が行 われる状態にない と判断した理由につ いて記載すること。)		
入院を必要と認めた精神保健指定医氏名	(署名)	
保 護 者	氏 名	(男・女) 続柄 生年月日 年月 日生
		(男・女) 続柄 生年月日 年月 日生
	住 所	
	1 後見人又は保佐人 2 配偶者 3 親権を行う者 4 家庭裁判所が選任した者 (選任年月日 年 月 日) 5 その他 ()	
審査会意見		
香 川 県 の 措 置		

(注)

- 1 [] 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。ただし、第34条による移送が行われた場合は、この欄は、記載する必要はない。
- 2 「今回の入院年月日」の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、「入院形態」の欄にそのときの入院形態を記載すること(第33条第2項又は特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第2項入院」、「第33条第1項・第4項入院」、「第33条第2項・第4項入院」又は「第33条の4第2項入院」と記載すること。)。なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること(第33条第2項又は第33条第2項・第4項による入院の場合は、入院した年月日も併せて記載すること。)
- 3 「精神科受診歴等」には、平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を含むこととする。
- 4 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 5 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 6 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 7 「保護者の氏名」の欄は、親権者が両親の場合は両親とも記載すること。
- 8 「保護者の住所」の欄は、親権者が両親で住所が異なる場合はそれぞれ記載すること。
- 9 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	Ⅷ 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()	
	Ⅸ 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 () 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 () 1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 () 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()	
医療保護入院の 必要性 (患者自身の病気に 対する理解の程度を 含め、任意入院が行 われる状態にない と判断した理由につ いて記載すること。)		
入院を必要と認めた精神保健指定医氏名	(署名)	
保 護 者	氏 名	(男・女) 続柄 生年月日 年月 日生
		(男・女) 続柄 生年月日 年月 日生
	住 所	
	1 後見人又は保佐人 2 配偶者 3 親権を行う者 4 家庭裁判所が選任した者 (選任年月日 年 月 日) 5 その他 ()	
審査会意見		
香 川 県 の 措 置		

(注)

- 1 [] 内は、精神保健指定医の診察に基づいて記載すること。ただし、第34条による移送が行われた場合は、この欄は、記載する必要はない。
- 2 「今回の入院年月日」の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、「入院形態」の欄にそのときの入院形態を記載すること(第33条第2項又は特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第2項入院」、「第33条第1項・第4項入院」、「第33条第2項・第4項入院」又は「第33条の4第2項入院」と記載すること。)。なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること(第33条第2項又は第33条第2項・第4項による入院の場合は、入院した年月日も併せて記載すること。)
- 3 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 4 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 5 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 6 「保護者の氏名」の欄は、親権者が両親の場合は両親とも記載すること。
- 7 「保護者の住所」の欄は、親権者が両親で住所が異なる場合はそれぞれ記載すること。
- 8 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第16号様式の2 (第16条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

特定医師による医療保護入院者（第33条第1項・第4項）の入院届
年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名 ㊦

次の者が特定医師の診察により医療保護入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第7項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ	-----	生年月日	年 月 日 (満 歳)
	氏名	(男・女)		
住所				
保護者の同意により入院した年月日	年 月 日 (午前・午後 時)	今回の入院年月日	年 月 日	入院形態
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。〕	(陳述者氏名 続柄)			
初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数	年 月 日～年 月 日 (入院形態) 年 月 日～年 月 日 (入院形態) 計 回			
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 () VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()			

第16号様式の2 (第16条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

特定医師による医療保護入院者（第33条第1項・第4項）の入院届
年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名 ㊦

次の者が特定医師の診察により医療保護入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第7項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ	-----	生年月日	年 月 日 (満 歳)
	氏名	(男・女)		
住所				
保護者の同意により入院した年月日	年 月 日 (午前・午後 時)	今回の入院年月日	年 月 日	入院形態
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科又は神経科受診歴等を記載すること。〕	(陳述者氏名 続柄)			
初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数	年 月 日～年 月 日 (入院形態) 年 月 日～年 月 日 (入院形態) 計 回			
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 () VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()			

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	IX 食行動 1拒食 2過食 3異食 4その他 () 1てんかん発作 2自殺念慮 3物質依存 () 4その他 () 1暴言 2徘徊 3不潔行為 4その他 () 1幻覚妄想状態 2精神運動興奮状態 3昏迷状態 4統合失調症等残遺状態 5抑うつ状態 6躁状態 7せん妄状態 8もうろう状態 9認知症状態 10その他 ()			
	医療保護入院の必要性 患者自身の病気に對する理解の程度を含め、任意入院が行われる状態にないと判断した理由について記載すること。			
入院を必要と認めたと特定医師氏名	(署名)			
確認した精神保健指定医氏名	(署名)	診察日時	年 月 日 (午前・午後 時)	
精神保健指定医が入院妥当でないと判断した場合の理由				
保護者	氏名	(男・女)	続柄	生年月日
		(男・女)	続柄	年 月 日生
	住所			
	1 後見人又は保佐人 2 配偶者 3 親権を行う者 4 家庭裁判所が選任した者 (選任年月日 年 月 日) 5 その他 ()			

(注)

- 1 []内は、特定医師の診察に基づいて記載すること。
- 2 「今回の入院年月日」の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、「入院形態」の欄にそのときの入院形態を記載すること(第33条第2項又は特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第2項入院」又は「第33条の4第2項入院」と記載すること。)。なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 4 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を含むこととする。
- 5 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 6 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 7 「保護者の氏名」の欄は、親権者が両親の場合は両親とも記載すること。
- 8 「保護者の住所」の欄は、親権者が両親で住所が異なる場合はそれぞれ記載すること。
- 9 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	IX 食行動 1拒食 2過食 3異食 4その他 () 1てんかん発作 2自殺念慮 3物質依存 () 4その他 () 1暴言 2徘徊 3不潔行為 4その他 () 1幻覚妄想状態 2精神運動興奮状態 3昏迷状態 4統合失調症等残遺状態 5抑うつ状態 6躁状態 7せん妄状態 8もうろう状態 9認知症状態 10その他 ()			
	医療保護入院の必要性 患者自身の病気に對する理解の程度を含め、任意入院が行われる状態にないと判断した理由について記載すること。			
入院を必要と認めたと特定医師氏名	(署名)			
確認した精神保健指定医氏名	(署名)	診察日時	年 月 日 (午前・午後 時)	
精神保健指定医が入院妥当でないと判断した場合の理由				
保護者	氏名	(男・女)	続柄	生年月日
		(男・女)	続柄	年 月 日生
	住所			
	1 後見人又は保佐人 2 配偶者 3 親権を行う者 4 家庭裁判所が選任した者 (選任年月日 年 月 日) 5 その他 ()			

(注)

- 1 []内は、特定医師の診察に基づいて記載すること。
- 2 「今回の入院年月日」の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、「入院形態」の欄にそのときの入院形態を記載すること(第33条第2項又は特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条第2項入院」又は「第33条の4第2項入院」と記載すること。)。なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 4 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 5 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 6 「保護者の氏名」の欄は、親権者が両親の場合は両親とも記載すること。
- 7 「保護者の住所」の欄は、親権者が両親で住所が異なる場合はそれぞれ記載すること。
- 8 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第16号様式の3 (第16条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

特定医師による医療保護入院者 (第33条第2項・第4項) の入院届
年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名 ㊦

次の者が特定医師の診察により医療保護入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第7項の規定により届け出ます。なお、保護者が選任された場合、改めて同項の規定により届け出ます。

入 院 者	フリガナ	-----	生年月日	年 月 日 (満 生 歳)
	氏 名	(男・女)		
	住 所			
第33条第2項・第4項 の入院年月日	年 月 日 (午前・午後 時)	今回の入院年月日 入院形態	年 月 日	
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神 科受診歴等を記載す ること。〕	(陳述者氏名 続柄)			
初 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
前 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
初回から前回までの入 院 回 数	計 回			
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 () VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()			

第16号様式の3 (第16条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

特定医師による医療保護入院者 (第33条第2項・第4項) の入院届
年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名 ㊦

次の者が特定医師の診察により医療保護入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条第7項の規定により届け出ます。なお、保護者が選任された場合、改めて同項の規定により届け出ます。

入 院 者	フリガナ	-----	生年月日	年 月 日 (満 生 歳)
	氏 名	(男・女)		
	住 所			
第33条第2項・第4項 の入院年月日	年 月 日 (午前・午後 時)	今回の入院年月日 入院形態	年 月 日	
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神 科又は神経科受診歴 等を記載すること。〕	(陳述者氏名 続柄)			
初 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
前 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
初回から前回までの入 院 回 数	計 回			
現在の精神症状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 () II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害 III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 () IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 () V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 () VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 () VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 () VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()			

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	IX 食行動 1拒食 2過食 3異食 4その他() 1てんかん発作 2自殺念慮 3物質依存() 4その他() 1暴言 2徘徊 3不潔行為 4その他() 1幻覚妄想状態 2精神運動興奮状態 3昏迷状態 4統合失調症等残遺状態 5抑うつ状態 6躁状態 7せん妄状態 8もうろう状態 9認知症状態 10その他()			
医療保護入院の 必要性 (患者自身の病気に対 する理解の程度を含 め、任意入院が行わ れる状態にないと判 断した理由について 記載すること。)				
入院を必要と認めた 特定医師氏名	(署名)			
確認した精神保健 指定医氏名	(署名)	診察 日時	年 月 日 (午前・午後 時)	
精神保健指定医が入院 妥当でないと判断した 場合の理由				
同意書	氏名	(男・女)	続柄	生年月日 年 月 日生
	住所			
家庭裁判所への申立年 月日(予定日を含む。)	年 月 日			

(注)

- 1 内は、特定医師の診察に基づいて記載すること。
- 2 「今回の入院年月日」の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、「入院形態」の欄にそのときの入院形態を記載すること(特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条の4第2項入院」と記載すること。)。なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 4 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を含むこととする。
- 5 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 6 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 7 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	IX 食行動 1拒食 2過食 3異食 4その他() 1てんかん発作 2自殺念慮 3物質依存() 4その他() 1暴言 2徘徊 3不潔行為 4その他() 1幻覚妄想状態 2精神運動興奮状態 3昏迷状態 4統合失調症等残遺状態 5抑うつ状態 6躁状態 7せん妄状態 8もうろう状態 9認知症状態 10その他()			
医療保護入院の 必要性 (患者自身の病気に対 する理解の程度を含 め、任意入院が行わ れる状態にないと判 断した理由について 記載すること。)				
入院を必要と認めた 特定医師氏名	(署名)			
確認した精神保健 指定医氏名	(署名)	診察 日時	年 月 日 (午前・午後 時)	
精神保健指定医が入院 妥当でないと判断した 場合の理由				
同意書	氏名	(男・女)	続柄	生年月日 年 月 日生
	住所			
家庭裁判所への申立年 月日(予定日を含む。)	年 月 日			

(注)

- 1 内は、特定医師の診察に基づいて記載すること。
- 2 「今回の入院年月日」の欄は、今回貴病院に入院した年月日を記載し、「入院形態」の欄にそのときの入院形態を記載すること(特定医師による入院を含む。その場合は、「第33条の4第2項入院」と記載すること。)。なお、複数の入院形態を経ている場合には、順に記載すること。
- 3 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 4 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 5 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 6 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第18号様式 (第18条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者 (第33条第1項) 退院届

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名

㊦

次の医療保護入院者 (第33条第1項) が退院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の2の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ氏名	(男・女)	生年月日	年 月 日 (満 歳)	
	住所				
保 護 者	フリガナ氏名	(男・女)	続柄	生年月日	年 月 日生
	住所				
	フリガナ氏名	(男・女)	続柄	生年月日	年 月 日生
	住所				
入院年月日 (医療保護入院)	年 月 日				
退院年月日	年 月 日				
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症		
退院後の処置	1 入院継続 (任意入院・措置入院・他科) 4 死亡 5 その他 ()		2 通院医療	3 転医	
退院後の帰住先	1 自宅 (i 家族と同居、ii 単身) 2 施設 3 その他 ()				
帰住先の住所					
訪問指導等に関する意見 障害福祉サービス等の活用に関する意見					
主治医氏名					

(注)

- 「入院年月日」の欄は、医療保護入院の年月日 (第33条第2項又は第33条第2項・第4項による入院を経た場合にあつては、その入院年月日) を記載すること。
- 「保護者の氏名」の欄は、親権者が両親の場合は両親とも記載すること。
- 「保護者の住所」の欄は、親権者が両親で住所が異なる場合はそれぞれ記載すること。
- 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第18号様式 (第18条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者 (法第33条第1項) 退院届

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名

㊦

次の医療保護入院者 (法第33条第1項) が退院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の2の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ氏名	(男・女)	生年月日	年 月 日 (満 歳)	
	住所				
保 護 者	フリガナ氏名	(男・女)	続柄	生年月日	年 月 日生
	住所				
	フリガナ氏名	(男・女)	続柄	生年月日	年 月 日生
	住所				
入院年月日 (医療保護入院)	年 月 日				
退院年月日	年 月 日				
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症		
退院後の処置	1 入院継続 (任意入院・措置入院・他科) 4 死亡 5 その他 ()		2 通院医療	3 転医	
退院後の帰住先	1 自宅 (i 家族と同居、ii 単身) 2 施設 3 その他 ()				
帰住先の住所					
訪問指導等に関する意見 障害福祉サービス等の活用に関する意見					
主治医氏名					

(注)

- 「入院年月日」の欄は、医療保護入院の年月日 (第33条第2項又は第33条第2項・第4項による入院を経た場合にあつては、その入院年月日) を記載すること。
- 「保護者の氏名」の欄は、親権者が両親の場合は両親とも記載すること。
- 「保護者の住所」の欄は、親権者が両親で住所が異なる場合はそれぞれ記載すること。
- 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第18号様式の2 (第18条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者 (第33条第2項) 退院届

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名

㊦

次の医療保護入院者 (第33条第2項) が退院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則第18条第2項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ 氏 名	(男・女)	生年月日	年 月 日生 (満 歳)	
	住 所				
同 意 書	フリガナ 氏 名	(男・女)	続柄	生年月日	年 月 日生
	住 所				
第33条第2項の規定による入院年月日	年 月 日				
退院年月日	年 月 日				
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症		
退院後の処置	1入院継続 (任意入院・第33条第1項の規定による医療保護入院・措置入院・他科) 2通院医療 3転医 4死亡 5その他 ()				
退院後の帰住先	1 自宅 (i 家族と同居、ii 単身) 2 施設 3 その他 ()				
帰住先の住所					
訪問指導等に関する意見					
障害福祉サービス等の活用に関する意見					
主治医氏名					

(注) 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第18号様式の2 (第18条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者 (法第33条第2項) 退院届

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名

㊦

次の医療保護入院者 (法第33条第2項) が退院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則第18条第2項の規定により届け出ます。

医療保護入院者	フリガナ 氏 名	(男・女)	生年月日	年 月 日生 (満 歳)	
	住 所				
同 意 書	フリガナ 氏 名	(男・女)	続柄	生年月日	年 月 日生
	住 所				
法第33条第2項の規定による入院年月日	年 月 日				
退院年月日	年 月 日				
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症		
退院後の処置	1入院継続 (任意入院・法第33条第1項の規定による医療保護入院・措置入院・他科) 2通院医療 3転医 4死亡 5その他 ()				
退院後の帰住先	1 自宅 (i 家族と同居、ii 単身) 2 施設 3 その他 ()				
帰住先の住所					
訪問指導等に関する意見					
障害福祉サービス等の活用に関する意見					
主治医氏名					

(注) 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第20号様式 (第19条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

特定医師による応急入院 (第33条の4第2項) 届
年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名 ㊦

次の者が特定医師の診察により応急入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の4第5項の規定により届け出ます。

応 急 入 院 者	フリガナ 氏 名	(男・女)	生年月日	年 月 日 (満 日 生 歳)
	住 所			
医 療 及 び 保 護 を 依 頼 し た 者	氏 名		入院者との 関係	
	住 所			
入 院 年 月 日	年 月 日 (午前・午後 時)			
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
	生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。〕 (陳述者名 続柄)			
応急入院の必要性 〔患者自身の病気に對する理解の程度を含め、任意入院が行われる状態にないと判断した理由について記載すること。〕				
初 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
前 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
初回から前回までの入院回数	計 回			
現 在 の 精 神 症 状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ()			
	II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害			
	III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ()			
	IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 ()			
	V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ()			

第20号様式 (第19条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

特定医師による応急入院 (第33条の4第2項) 届
年 月 日

香川県知事 殿

所在地
届出者 病院名
管理者名 ㊦

次の者が特定医師の診察により応急入院したので、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第33条の4第5項の規定により届け出ます。

応 急 入 院 者	フリガナ 氏 名	(男・女)	生年月日	年 月 日 (満 日 生 歳)
	住 所			
医 療 及 び 保 護 を 依 頼 し た 者	氏 名		入院者との 関係	
	住 所			
入 院 年 月 日	年 月 日 (午前・午後 時)			
病 名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
	生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科又は神経科受診歴等を記載すること。〕 (陳述者名 続柄)			
応急入院の必要性 〔患者自身の病気に對する理解の程度を含め、任意入院が行われる状態にないと判断した理由について記載すること。〕				
初 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
前 回 入 院 期 間	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
初回から前回までの入院回数	計 回			
現 在 の 精 神 症 状	I 意識 1 意識混濁 2 せん妄 3 もうろう 4 その他 ()			
	II 知能 1 軽度障害 2 中等度障害 3 重度障害			
	III 記憶 1 記銘障害 2 見当識障害 3 健忘 4 その他 ()			
	IV 知覚 1 幻聴 2 幻視 3 その他 ()			
	V 思考 1 妄想 2 思考途絶 3 連合弛緩 4 滅裂思考 5 思考奔逸 6 思考制止 7 強迫観念 8 その他 ()			

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ()
	VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ()
	VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()
	IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 () 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 ()
	1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 () 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()
応急入院を採った理由 (保護者等の同意を得ることのできなかつた理由を含め、応急入院を採った理由について記載すること。)	
入院を必要と認めた 特定医師氏名	(署名)
確認した精神保健 指定医氏名	(署名) 診察日時 (午前・午後 年 月 日 時)
精神保健指定医が入院 妥当でないと判断した 場合の理由	

(注)

- 1 内は、特定医師の診察に基づいて記載すること。
- 2 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 3 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を含むこととする。
- 4 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 5 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 6 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

その他の重要な症状 問題行動等 現在の状態像	VI 感情・情動 1 感情平板化 2 抑うつ気分 3 高揚気分 4 感情失禁 5 焦燥・激越 6 易怒性・被刺激性亢進 7 その他 ()
	VII 意欲 1 衝動行為 2 行為心迫 3 興奮 4 昏迷 5 精神運動制止 6 無為・無関心 7 その他 ()
	VIII 自我意識 1 離人感 2 させられ体験 3 解離 4 その他 ()
	IX 食行動 1 拒食 2 過食 3 異食 4 その他 () 1 てんかん発作 2 自殺念慮 3 物質依存 () 4 その他 ()
	1 暴言 2 徘徊 3 不潔行為 4 その他 () 1 幻覚妄想状態 2 精神運動興奮状態 3 昏迷状態 4 統合失調症等残遺状態 5 抑うつ状態 6 躁状態 7 せん妄状態 8 もうろう状態 9 認知症状態 10 その他 ()
応急入院を採った理由 (保護者等の同意を得ることのできなかつた理由を含め、応急入院を採った理由について記載すること。)	
入院を必要と認めた 特定医師氏名	(署名)
確認した精神保健 指定医氏名	(署名) 診察日時 (午前・午後 年 月 日 時)
精神保健指定医が入院 妥当でないと判断した 場合の理由	

(注)

- 1 内は、特定医師の診察に基づいて記載すること。
- 2 「生活歴及び現病歴」の欄は、他診療所及び他病院での受診歴をも聴取して記載すること。
- 3 「初回入院期間 前回入院期間 初回から前回までの入院回数」の欄の初回入院期間及び前回入院期間は、他病院での入院歴・入院形態をも聴取して記載すること。
- 4 「現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像」の欄は、一般にこの書類作成までの過去数箇月間に認められたものとし、主として最近のそれに重点を置くこと。
- 5 氏名の記載を自署で行う場合は、押印を省略することができる。

第22号様式 (第22条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

措置入院者の定期病状報告書

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
報告者 病院名
管理者名

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第1項の規定により報告します。

措置入院者	フリガナ 氏名 住所	(男・女)	生年月日	年 月 日生 (満 歳)
入院措置年月日	年 月 日	今回の入院年月日	年 月 日	入院形態
前回の定期報告年月日	年 月 日			
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科 受診歴等を記載すること。〕	(陳述者名 続柄)			
初回入院期間 前入院期間 初回から前回までの入院 回数	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
過去6箇月間(措置入院後 3箇月の場合は過去3箇月 間)の仮退院の実績	計 回 延日数 日			
過去6箇月間(措置入院 後3箇月の場合は過去3 箇月間)の病状又は状態 像の経過の概要 〔問題行動を中心として 記載すること。〕				
過去6箇月間(措置入院 後3箇月の場合は過去3 箇月間)の治療の内容及 びその結果				
今後の治療方針(再発防 止への対応含む。)				
処遇、看護及び 指導の現状	隔 離 i多用 ii時々 iiiほとんど不要 注意必要度 i常に嚴重な注意 ii随時一応の注意 iiiほとんど不要 日常生活の介助指導必要性 i極めて手間のかかる介助 ii比較的簡単な介助と指導 iii生活指導を要する ivその他 ()			
重大な問題行動 (Aはこれまでの、Bは 今後おそれのある行動)	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像			
1 殺人 2 放火 3 強盗 4 強姦 5 強制わいせつ	A B A B A B A B A B	<現在の精神症状> I 意識 1意識混濁 2せん妄 3もうろう 4その他 () II 知能 1軽度障害 2中等度障害 3重度障害		

第22号様式 (第22条関係)

受付保健所名	
受付年月日	

措置入院者の定期病状報告書

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
報告者 病院名
管理者名

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第1項の規定により報告します。

措置入院者	フリガナ 氏名 住所	(男・女)	生年月日	年 月 日生 (満 歳)
入院措置年月日	年 月 日	今回の入院年月日	年 月 日	入院形態
前回の定期報告年月日	年 月 日			
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症	
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科 又は神経科受診歴等を 記載すること。〕	(陳述者名 続柄)			
初回入院期間 前入院期間 初回から前回までの入院 回数	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)			
過去6箇月間(措置入院後 3箇月の場合は過去3箇月 間)の仮退院の実績	計 回 延日数 日			
過去6箇月間(措置入院 後3箇月の場合は過去3 箇月間)の病状又は状態 像の経過の概要 〔問題行動を中心として 記載すること。〕				
過去6箇月間(措置入院 後3箇月の場合は過去3 箇月間)の治療の内容及 びその結果				
今後の治療方針(再発防 止への対応含む。)				
処遇、看護及び 指導の現状	隔 離 i多用 ii時々 iiiほとんど不要 注意必要度 i常に嚴重な注意 ii随時一応の注意 iiiほとんど不要 日常生活の介助指導必要性 i極めて手間のかかる介助 ii比較的簡単な介助と指導 iii生活指導を要する ivその他 ()			
重大な問題行動 (Aはこれまでの、Bは 今後おそれのある行動)	現在の精神症状、その他の重要な症状、問題行動等、現在の状態像			
1 殺人 2 放火 3 強盗 4 強姦 5 強制わいせつ	A B A B A B A B A B	<現在の精神症状> I 意識 1意識混濁 2せん妄 3もうろう 4その他 () II 知能 1軽度障害 2中等度障害 3重度障害		

略

(注)

1～3 略

4 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科
における受診歴を含むこととする。

5～11 略

略

(注)

1～3 略

4～10 略

第23号様式（第22条関係）

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者の定期病状報告書

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
報告者 病院名
管理者名

㊦

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第2項において準用する同条第1項の規定により報告します。

医療保護入院者	フリガナ	-----		生年月日	年 月 日生
	氏名	(男・女)			(満 歳)
	住所				
医療保護入院年月日 (第33条第1項による入院)	年 月 日	今回の入院年月日	年 月 日	入院形態	-----
前回の定期報告年月日	年 月 日				
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症		
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。〕	(陳述者名 続柄)				
初回入院期間 前前回入院期間 初回から前回までの入院回数	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)		年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)		
	計 回				
過去12箇月間の外泊の実績	1 不定期的 2 定期的 (i 月単位、 ii 数箇月単位、 iii その他 ()) 3 なし				
過去12箇月間の病状又は状態像の経過の概要 〔問題行動を中心として記載すること。〕					
過去12箇月間の治療の内容及びその結果並びに通院又は任意入院に変更できなかった理由					
症状の経過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向				
今後の治療方針 (患者本人の病識や治療への意欲を得るための取り組みについて)					

第23号様式（第22条関係）

受付保健所名	
受付年月日	

医療保護入院者の定期病状報告書

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
報告者 病院名
管理者名

㊦

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第38条の2第2項において準用する同条第1項の規定により報告します。

医療保護入院者	フリガナ	-----		生年月日	年 月 日生
	氏名	(男・女)			(満 歳)
	住所				
医療保護入院年月日 (第33条第1項による入院)	年 月 日	今回の入院年月日	年 月 日	入院形態	-----
前回の定期報告年月日	年 月 日				
病名	1 主たる精神障害 ICDカテゴリー ()	2 従たる精神障害 ICDカテゴリー ()	3 身体合併症		
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科又は神経科受診歴等を記載すること。〕	(陳述者名 続柄)				
初回入院期間 前前回入院期間 初回から前回までの入院回数	年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)		年 月 日～ 年 月 日 (入院形態)		
	計 回				
過去12箇月間の外泊の実績	1 不定期的 2 定期的 (i 月単位、 ii 数箇月単位、 iii その他 ()) 3 なし				
過去12箇月間の病状又は状態像の経過の概要 〔問題行動を中心として記載すること。〕					
過去12箇月間の治療の内容及びその結果並びに通院又は任意入院に変更できなかった理由					
症状の経過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向				
今後の治療方針 (患者本人の病識や治療への意欲を得るための取り組みについて)					

略

(注)

1～3 略

4 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科
における受診歴を含むこととする。

5～10 略

略

(注)

1～3 略

4～9 略

第23号様式の2 (第22条関係)

任意入院者の定期病状報告書

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
報告者 病院名
管理者名

㊦

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の規定による任意入院者の症状等の報告に関する条例第2条の規定により報告します。

任意入院者	フリガナ 氏名	----- (男・女)	生年月日	年 月 日 (満 日 生 歳)
	住所			
任意入院年月日 (第22条の3による入院)	年 月 日	今回の入院年月日 入院形態	年 月 日	
前回の定期報告年月日	年 月 日			
病 名	1 主たる精神障害	2 従たる精神障害	3 身体合併症	
	ICDカテゴリー()	ICDカテゴリー()		
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科受診歴等を記載すること。〕	(陳述者氏名 続柄)			
初回入院期間	年 月 日～	年 月 日	(入院形態)	
前回入院期間	年 月 日～	年 月 日	(入院形態)	
初回から前回までの入院回数	計 回			
過去12箇月間の外泊の実績	1 不定期的 2 定期的 (i 月単位、 ii 数箇月単位、 iii その他 ()) 3 なし			
過去12箇月間の病状又は状態像の経過の概要 〔問題行動を中心として記載〕 すること。				
過去12箇月間の治療の内容及びその結果 (過去12箇月間に行動制限が行われた際はその必要性について)				
症 状 の 経 過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向			
今後の治療方針				
任意入院継続の必要性 (通院へ変更ができない理由について具体的に記載すること。)				

第23号様式の2 (第22条関係)

任意入院者の定期病状報告書

年 月 日

香川県知事 殿

所在地
報告者 病院名
管理者名

㊦

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の規定による任意入院者の症状等の報告に関する条例第2条の規定により報告します。

任意入院者	フリガナ 氏名	----- (男・女)	生年月日	年 月 日 (満 日 生 歳)
	住所			
任意入院年月日 (第22条の3による入院)	年 月 日	今回の入院年月日 入院形態	年 月 日	
前回の定期報告年月日	年 月 日			
病 名	1 主たる精神障害	2 従たる精神障害	3 身体合併症	
	ICDカテゴリー()	ICDカテゴリー()		
生活歴及び現病歴 〔推定発病年月、精神科又は 神経科受診歴等を記載する〕 こと。	(陳述者氏名 続柄)			
初回入院期間	年 月 日～	年 月 日	(入院形態)	
前回入院期間	年 月 日～	年 月 日	(入院形態)	
初回から前回までの入院回数	計 回			
過去12箇月間の外泊の実績	1 不定期的 2 定期的 (i 月単位、 ii 数箇月単位、 iii その他 ()) 3 なし			
過去12箇月間の病状又は状態像の経過の概要 〔問題行動を中心として記載〕 すること。				
過去12箇月間の治療の内容及びその結果 (過去12箇月間に行動制限が行われた際はその必要性について)				
症 状 の 経 過	1 悪化傾向 2 動揺傾向 3 不変 4 改善傾向			
今後の治療方針				
任意入院継続の必要性 (通院へ変更ができない理由について具体的に記載すること。)				

略 (注) 1～3 略 <u>4 精神科受診歴等には、平成20年3月31日以前に広告している神経科における受診歴を含むこととする。</u> 5～9 略	略 (注) 1～3 略 <u>4～8 略</u>
---	---------------------------------------

(麻薬及び向精神薬取締法施行細則の一部改正)

第2条 麻薬及び向精神薬取締法施行細則（平成15年香川県規則第89号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

改正後	改正前												
別表（第5条関係） <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">費用負担者の所得税額の合算額</th> <th style="width: 70%;">徴収月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>147万円以下の場合</td> <td>略</td> </tr> <tr> <td><u>147万円を超える場合</u></td> <td>略</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 略</p>	費用負担者の所得税額の合算額	徴収月額	147万円以下の場合	略	<u>147万円を超える場合</u>	略	別表（第5条関係） <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">費用負担者の所得税額の合算額</th> <th style="width: 70%;">徴収月額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>150万円以下の場合</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td><u>150万円を超える場合</u></td> <td>2万円。ただし、措置入院者の入院に要した費用の額から精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第30条の2に規定する法律の規定により当該措置入院者が受けることができる医療に関する給付の額を控除した額が2万円に満たない場合は、その額</td> </tr> </tbody> </table> <p>備考 略</p>	費用負担者の所得税額の合算額	徴収月額	150万円以下の場合	0円	<u>150万円を超える場合</u>	2万円。ただし、措置入院者の入院に要した費用の額から精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第30条の2に規定する法律の規定により当該措置入院者が受けることができる医療に関する給付の額を控除した額が2万円に満たない場合は、その額
費用負担者の所得税額の合算額	徴収月額												
147万円以下の場合	略												
<u>147万円を超える場合</u>	略												
費用負担者の所得税額の合算額	徴収月額												
150万円以下の場合	0円												
<u>150万円を超える場合</u>	2万円。ただし、措置入院者の入院に要した費用の額から精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第30条の2に規定する法律の規定により当該措置入院者が受けることができる医療に関する給付の額を控除した額が2万円に満たない場合は、その額												

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正前の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律施行細則に定める様式による用紙は、当分の間、修正して使用することができる。